

長期化するミャンマー(ビルマ)難民問題と揺れる人々の心 ~キャンプ内の図書館の存在~



@ Shibuya Atsushi

27年目をむかえるミャンマー(ビルマ)難民キャンプ。米国を筆頭に本格化した第三国定住のみが現在有効な難民問題の解決法だが、既にピークを過ぎている。

日本政府も3年間で90名の受け入れ試験事業を開始、昨年から13番目のホスト国になった。

第三国定住か、本国帰還か、庇護国定住か、それとも・・・。

人生の岐路に立たされる難民キャンプの人々の願いとは何か。図書館が彼らにとってどのような存在なのか。彼らの切実な現状と課題に対して、私たちに何ができるのか。

SVA ミャンマー(ビルマ)難民事業事務所所長の小野豪大、プロジェクトマネージャーのジラポーン・ラウィルン(セイラー)がキャンプの状況、その中でのSVAの役割、そして難民の思いをお伝えします。

- 2011年10月6日(木) 18:30~20:00 (開場 18:00)
- 会場:長崎市社会福祉会館 4階大会議室(長崎市上町1番33号)
- 資料代 500円 (SVAの会員、チャイルド・ブック・サポーターは無料)
*古本を1冊以上お持ちください。CD、DVD、ゲームソフトも大歓迎です。集まった本などはブックオフへ。買取額はミャンマー(ビルマ)難民キャンプの図書館事業にあてさせていただきます。
- 協力:社会福祉法人 長崎市社会福祉協議会
- お申し込み、お問い合わせは裏面をご覧ください。

長期化するミャンマー(ビルマ)難民問題と揺れる人々の心 ~キャンプ内の図書館の存在~



小野 豪大 (おの たけひろ) ミャンマー(ビルマ)難民事業事務所 所長

北海道美唄市生まれ。大学時代にインドシナ難民への定住支援に関心を抱き、卒業後は NGO などで神奈川県を中心とした定住難民支援事業などに従事した。1993年、SVA ラオス事務所にて教育支援事業に従事。進学を経て、2002年から東京事務所の海外事業課に配属(ラオス担当等)。現職は2007年から。



ジラポーン・ラウィルン(セイラー)ミャンマー(ビルマ)難民事業事務所 プロジェクト・マネージャー

タイ・ミャンマー(ビルマ)国境で生まれのカレン系タイ人。難民キャンプ内の学校でボランティア教師として3年間勤務後、2000年よりメーホンソン県メーサリアンのSVA事務所に入職。難民キャンプ内の図書館設立、図書館員育成、絵本等の翻訳・配布、図書館委員会や他団体との調整など、多方面において活動した。現職は2005年からで、7つの難民キャンプにおけるコミュニティ図書館全体を統括。キャンプで暮らすすべての人々へ本を届けること、図書館が過ごしやすい場となるよう日々奮闘している。

【お申し込み】電話、メール、ファックス、HPにある本イベントページ内のフォームで受け付けております。

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会(SVA) 担当: 鎌倉、鈴木

〒160-0015 新宿区大京町 31 慈母会館 2、3 階

電話: 03-6457-4586 Email: pr@sva.or.jp

URL: <http://www.sva.or.jp/> (SVAで検索してください。)

Fax 03-5360-1220 Faxにて参加申し込みされる方は以下のフォームに必要事項を記入していただき、

SVA 東京事務所まで Fax にてお送りください。



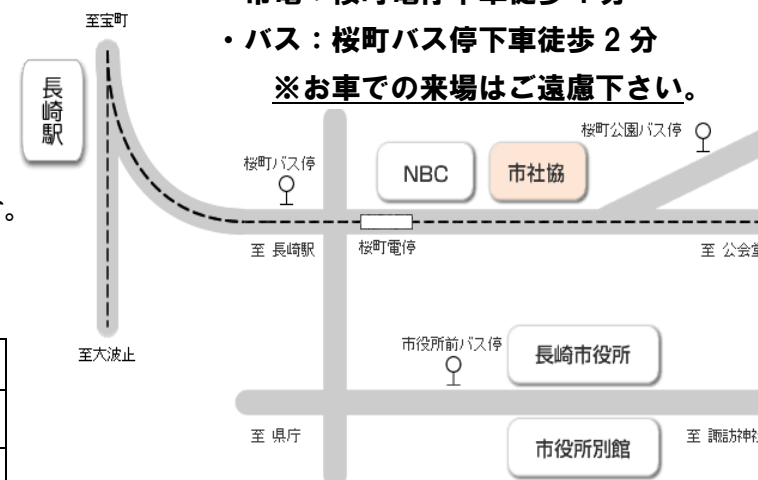
* 携帯電話からもお申し込みいただけます。

お名前	
メールアドレス	
ご住所	〒
電話番号	
SVA 会員、チャイルド・ブック・サポーターの有無	有 ・ 無

【会場までのアクセス】

- ・市電：桜町電停下車徒歩 1 分
- ・バス：桜町バス停下車徒歩 2 分

※お車での来場はご遠慮下さい。



* 個人情報につきましては、イベントおよび当会の活動のご案内の目的以外では一切使用いたしません。活動案内の送付などご希望されない方は、こちらにチェックをお願いします。

→ 希望しない